

# 2023 年度事業報告書

公益財団法人広島YMCA



公益財団法人 広島YMCA





ひとりがよくなると世界はきっとこう変わる。 ひとりが「よくなる」と、どんなコトが起きるだろう。 ひとりが「よくなる」と、 その人と出会った誰かがうれしくなる。 つまり、その人もきっと「よくなる」。 そして「よくなる」の繰り返しは社会や世界を よりよく変えていくチカラになると思うのです。 その人と出会った誰かが「よくなる」 そんな出会いとつながりをYMCAは これからも大切にしたいと考えています。 「よくなる」の連鎖はやがて 社会や世界を変えていくチカラとなっていく。 そしてきっと平和を形にしていく原動力となっていく。

### SDGs × YMCA グローバル・パートナーシップ

# YMCA はポジティブネットのある 豊かな社会を創造します。

持続可能な開発目標(SDGsエス・ディー・ ジーズ)とは、2015年9月に国連サミットで採択 された2030アジェンダの開発目標です。17の目 標・169のターゲットから構成され、地球上の誰 一人として取り残さない(Leave no one behind) 世界の実現を誓っています。

国内外で広がる貧困や格差、紛争や気候変動の 課題、子どものいじめや虐待など、世界の共通課 題に向けて、YMCAも国内外のグローバルなパー トナーシップを活用し、多様な連携を通じて世界 を変える一翼を担います。





























# ■2023年度 公益財団法人 広島 Y M C A 活動実績

2023年	
3/1 (水) -4/30 (日)	Amazonみんなで応援プログラム2023年度版実施
4/15(土)-4/17(月)	「みんなの市民サミット2023」(NPO協力)
4/29(土・祝)	「核兵器廃絶のためのG7国会議員フォーラム」(NPO協力)
5/ 4(木)-5/ 6(土)	第54回全国YMCAリーダー研修会(せとうち・倉敷青年の家)
5/17(水)-5/21(日)	G7先進国首脳会議/市民サミットC7イベント(NPO協力)
6/7 (zk)	「戦争も核兵器もない平和な世界を」市民の集い2023を実施
6/11 (日)	原爆の子の像建立記念式典(広島女学院大学協力/職員有志)
6/25(日)	広島YMCA会員大会
6/27(火)	国際リーダー会・留学生異文化交流会
7/8(土)-7/14(金)	ドキュメンタリー映画「飯舘村べこやの母ちゃん」上映会
7/24(月)-8/ 4(金)	ホノルル-広島国際交流「Let's Get Together」開催
8/ 4(金)-8/7(月)	広島YMCA国際青少年平和セミナー(ユースピースセミナー)開催
8/ 4 (金)	市民平和行進 (広島県被団協・広島県生協連協力)
8/ 5 (土)	核兵器禁止条約締約国会議とNPT再検討会議に向けて(NPO協力)
8/6(日)	平和の灯ろう流し
8/14(月)-8/16(水)	横浜YMCAキッズピースキャンプ受け入れサポート
8/ 22(火)	旧日本銀行リニューアル工事公式記録撮影(NPO支援)
8/28(月)-9/30(土)	マウイ島大規模火災緊急支援募金実施
8/29(火)-9/3(日)	ミュージカル「PEACE ON YOUR WINGS一平和は翼に乗ってー」
10/ 1 (日)	広島YMCAチャリティーバザー開催
10/25 (水)	広島YMCA創立85周年記念礼拝
10/25 (水) -10/28 (土)	ICAN ACADEMY開催(広島県支援)
10/28 (土)	ウクライナ支援「プィーサンキの旅-広島」開催
11/ 1 (水) -2024/2/29 (木)	広島YMCA国際協力募金 キックオフスタート
11/11 (土)	パレスチナ支援「STOP GENOCIDE IN GAZA」実施
11/18 (土)	世界YMCA・YWCA同祈祷集会(広島YWCA主管)
11/23(木・祝)	インターナショナル・チャリティーラン(実走大会再開)
12/ 1(金)-12/25(月)	Amazonみんなでサンタクロースプロジェクト開始
12/10(日)-12/15(金)	広島YMCA国際協力募金・街頭募金活動①②
2024年	
2024年	사장V 현사류RD 소 + 변경 스
1/5(金)-3/31(日)	能登半島地震緊急支援募金 - *** ***** *** *** *** *** *** *** ***
1/13(土)-1/18(木)	能登半島地震緊急支援 街頭募金①②  ICAN東森民馬 (Unit in a fixer (NDO to
1/19(金)-1/20(土)	ICAN事務局長メリッサーパーク氏来広(NPO協力)
1/22(月)	核兵器禁止条約発効3周年を祝う広島集会(NPO協力)
2/28(水)	YMCAピンクシャツデー(全国YMCA協働)
3/11(月)	3.11東日本大震災を忘れない追悼の集い(広島市社協協力)

#### 1) 平和教育活動

広島の被爆体験を次世代に継承し、核兵器廃絶につながる学びや世界の紛争地域の状況や支援の必要性 について、実際に世界の若者と対面し、議論を通して今後の課題について学びました。

#### ①YMCAユースピースセミナーの実施

8月4日から8月7日の期間、広島YMCAユースピースセミナーが開催され、国内外の若者が広島に集まり平和についての学びを深めました。平和記念礼拝・被爆証言・平和記念公園における慰霊碑めぐりや資料館見学・原爆の子の像千羽鶴献納・リーダーが企画したグループワークを通して平和についての学びを深めていきました。最終日の8月6日には平和祈念式典に参加し、ピースセミナーのまとめを行い、最後に灯ろう流しに参加しました。

#### ②平和の灯ろう流しの実施

8月6日夕方から4年ぶりに平和の灯ろう流しを行い、220名の子ども達・ファミリー・国内外の若者たちが参加しました。夕方17:00にYMCAに集合して、世界から送られてきた平和のメッセージが書かれた絵で灯ろうづくりを行いました。佐々木禎子さんの折鶴の話をみんなで聞いた後、平和記念公園親水テラスに出発。ボランティアの方々にキャンドルを点火してもらい、元安川に浮かべて祈りを捧げました。

#### ③市民平和行進

広島YMCAは、生協ひろしまとの共同で、1979年から市民平和行進に取り組んでいます。今年はコロナ禍も落ち着き、平和行進の実施が再開され、アリスガーデンから平和記念公園に向け行進を行い、資料館からゴールである慰霊碑にて献花を行いました。生協ひろしま・広島県原爆被害者団体協議会(以降被団協)・広島YMCAの3団体が参加し、平和記念公園内で行われる献花式に市民グループの代表として参加しました。

#### ④平和のための国際NGOおよび地域NPOとの協力

#### ◆国際NGOとの協力

「核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)」「ピースボート」「核兵器廃絶をめざすヒロシマの会」などの協力により、核兵器禁止条約批准の後押しをするための共同行動(集会やイベント)を展開しました。

特に2023年度は、日本核廃絶NGO連絡会議が主催した 国連・ICAN・日本政府と各政党の党首を交えた討論会で は、広島YMCAも事務局として日本の核政策に関する 情報を国内外に向けて発信しました。











#### ◆地域NPOとの協力

広島YMCAは、広島県原爆被害者団体協議会(被団協)が行う活動のサポートを行っています。2023年度は計4回の「政府に対し核兵器禁止条約への批准を求める署名活動」を行いました。7つの被爆者団体では核兵器禁止条約の発効後、2024年3月末まで署名を集める活動を続けています。2か月に1度街頭署名活動が平和記念公園の元安橋で行われ、核兵器廃絶にむけての地道な活動を続けています。

#### ◆広島県へいわ創造機構ひろしま(HOPe)との協力

広島県のHiroshima Organization for Global Peace/略称: HOPe(ホープ)や国際NGOのICANと広島県が行う「ICAN ACADEMY」の運営に広島YMCAは協力し、公式記録の提供を行いました。

#### ◆広島平和文化センターおよび平和首長会議との協力

広島市平和文化センターのイベント協力は従来通り行ってきていますが、2023年度は特にICAN新事務局長メリッサ・パーク氏の来日もあり、広島市と協力し事務局長来日におけるイベントサポートを主催団体として行いました。また、平和首長会議の公式記録としてデータの提供を行いました。

#### ◆核兵器禁止条約発効3周年を祝う平和イベント協力

核兵器禁止条約が発効された1月22日に広島市内で活動をするNPOが協力し、条約発効3周年を祝うキャンドルイベントが原爆ドーム前で行われました。広島YMCAも平和活動NPOの1つとして、この活動をサポートしました。会場の設置やイベントの運営、記録などの役割を広島YMCAスタッフやリーダーたちで担いました。

#### ◆広島県生協連との協力「戦争も核兵器もない平和な世界を」

この市民の集いは、核兵器廃絶を願い思想信条を越えて結成された市民6団体が、行政と連帯して「戦争も核兵器もない平和な世界を」めざした取り組みで、広島YMCAも市民団体の代表として、また、主催者の1つとして参加しています。

今年度は、ジャーナリストの小山美沙さんから「黒い雨訴訟」に関するテーマで特別講演をいただきました。広島県生活協同組合連合会・広島県原爆被害者団体協議会・広島YMCAの事務局が共同し、会の結びに平和アピール文が読み上げられ、満場一致で採択がなされました。

#### ◆市民NPO協力による「STOP GENOCIDE IN GAZA」集会

11月11日(土)17:00~18:30 原爆ドーム前でイスラエルのガザ侵攻に対する反対集会が行われました。題して「STOP GENOCIDE IN GAZA」とイスラエルの即時停戦を訴えるキャンドルアクションで、広島 YMCA は主催者の呼びかけ人の一つとしてこの活動に賛同し、運営を行いました。













#### 2) 地域奉什活動

広島YMCAの会員の皆様、ボランティアリーダーの方々と共に、障がいのある子ども達や生活困窮状態にある方々への支援活動、チャリティープログラムを実施し、地域社会への奉仕活動を行いました。

#### ①インターナショナル・チャリティーランの再開

個人や企業を対象に、障がいのある子ども達の支援のための ランニングイベントを企画し、参加費・協賛金を支援活動に充 当しました。特に2023年度は広島城ランニングコースでの実 走大会を4年ぶりに開催しました。

日程:11月23日(木・祝) 申込者:185名

協賛:24団体

・株式会社アズライフ・株式会社飯南トータルサポート琴引フォレストパークスキー場・ENEOS グローブエナジー株式会社・オタフクソース株式会社・加茂商事株式会社サッカーショップ KAMO・株式会社金正堂・株式会社コセヌプリ・株式会社サンフレッチェ広島・シーコム・ハクホー株式会社・ダスキン東広島支店・株式会社たびまちゲート広島・有限会社チームス・学校法人広島女学院・フィッシングレイク高宮・山下江法律事務所・ユカリス湯来・鯉城タクシー株式会社・株式会社糧配・広島ワイズメンズクラブ・福山ワイズメンズクラブ・呉ワイズメンズクラブ・東広島ワイズメンズクラブ・岩国みなみワイズメンズクラブ・米子ワイズメンズクラブ(瀬戸山陰部)

全国 Y M C A の障がい児プログラム運営に106,036円 支援 広島 Y M C A 障がい児クラスの活動に247,418円 支援

#### ②Amazon「みんなで応援プログラム」

#### 「みんなでサンタクロースプロジェクト」の実施

Amazonのご協力により、通販サイトを活用したチャリティーキャンペーンを広島 Y M C A で実施しました。広島 Y M C A の公益活動で必要としている支援物資をAmazonの通販サイトに登録し、プログラムの趣旨に賛同された方々に購入いただき、支援物資として届けていただく活動を行いました。Amazonのパートナーとして、全国23の Y M C A でこのキャンペーンを展開しました。

・主な支援品

学童保育用図鑑・テーブルゲーム・学習用玩具等 一人親家庭支援フードバンク用クリスマスカード 一人親家庭支援フードバンク用ツリーオーナメント 子ども食堂用食器セット(カレー皿他)

#### ③いじめに反対するピンクシャツデーの実施

2月28日(水)ピンクのシャツや小物を身につけて「いじめ 反対」のアピールを行いました。2023年度はYMCAのすべてのブランチから趣向を凝らした写真やいじめ反対のメッセージが届くようになり、この活動も年々拡大しています。







#### 3) 国際交流・国際支援活動

広島YMCAの持つ国際的なネットワークを活用し、国際交流を促進し、合わせて海外からの来広者に対し、被爆地広島の体験を広く伝えました。また、世界で起きる自然災害や紛争地域への人道支援、開発途上国や地域への支援の必要性を広く訴え、日本YMCA同盟を通じて国際支援を行いました。

#### ①広島-ホノルル青少年交流プログラム(Let's Get Together)

4年ぶりにホノルルから学生を受け入れ、7月24日から8月3日までの11日間、国際交流プログラムを行いました。ホノルルからは9名の学生が参加をし、広島の中高生とのキャンププログラム等を通して親交を深めました。7月28日から31日の期間はホストファミリーの家にホームステイをして過ごしました。

プログラムの最初は緊張していた様子もありましたが、さよならパーティーではお互い涙を流して別れを惜しんでいました。

コロナ禍も明け、渡航制限が解除されてから久しぶりに対面で の実施になりましたが、やはり顔を見て直接言葉を交わすことが 親交を深める一番の方法だと改めて感じました。



1988年にパートナーシップ締結、1992年から国際交流プログラムとして継続していましたが、コロナ禍による渡航制限のため、派遣・受け入れを中止していました。2023年度はハノーバーYMCAの理事長が広島を訪れ、再開に向けたミーティングを行い、2024年度からの再開を約束しました。

#### ③日中韓 YMCA平和フォーラム

2024年2月1日(木)~4日(日)の期間で、中国上海において日中韓YMCA平和フォーラムが開催され、3か国から約80名の参加者がありました。広島YMCAからは、総主事と国際担当者の2名とユースリーダー2名が派遣され、日中韓3国が抱える課題について積極的な討論が行われました。

特にユースリーダーは初めての北東アジアへの派遣のため、日本が行なった戦時中の中国・韓国への戦争加害についてしっかりと事前研修を行い参加することができました。交流を深めた中国・韓国の若者とユースピースセミナーで再会する予定です。

#### ④マウイ島大規模火災緊急支援募金の実施

2023年8月8日にハワイ・マウイ島で発生した大規模火災の緊急支援として、火災が発生してすぐ、マウイ島にあるマウイ・ファミリーYMCAはシャワー、避難所、託児所、食料、避難民の救済など支援活動を開始しました。同様に広島YMCAと60年以上の強い絆で結ばれているホノルルYMCAもマウイ・ファミリーYMCAの支援、ならびにホノルルのあるオアフ島に避難されている方の支援を行いました。広島YMCAもホノルルYMCAを通して、被災された多くの方々のために緊急支援募金活動を行い、1か月で約50万円の支援金が集まり、ホノルルYMCAに送金しました。









#### 4) 災害支援活動

2023年度の災害復興支援活動は、以下の活動が行われました。

#### 3.11東日本大震災を忘れない追悼のつどい

広島市災害ボランティア連絡調整会議(YMCAも加盟団体の1つ)のNPOが協力して、毎年、平和記念公園にある親水テラスにてキャンドルを灯し、東日本大震災で被害に遭った方々を追悼する慰霊のイベントが2012年から続けられています。今年は東日本大震災だけではなく、能登半島地震追悼の思いも込められた集会が行われ、それぞれのNPOが集まり追悼集会が行われました。

#### 能登半島地震緊急支援募金

広島YMCAでは、1月1日に発災した能登半島地震への支援活動として、全国に先駆け1月5日より緊急支援募金活動を開始しました。1月13日と18日には広島市中心街にて街頭募金を実施。

当初1月末までの予定としていましたが、日本YMCA同盟の全国的な通知により、募金期間を3月31日まで延長し、総額で1,567,806円の募金を集めることができました。日本YMCA同盟を通じ、避難所支援事業に活用され、広島YMCA独自の活動にも活用される予定です。





#### 5) ボランティア・リーダー/ユース育成活動

広島YMCAの会員の皆様、市民の皆様にボランティアの機会を提供し、様々な活動を通してボランティアの育成を図りました。また、日本YMCA同盟が行うリーダー育成事業・ボランティア育成事業に参加する機会を設け支援を行いました。特に2023年度は、コロナ禍も落ち着き多くの国際大会も開催され、海外や広島において多くの国際交流の機会を提供しました。また、全国的なユース研修にリーダーを派遣し、広島におけるユースエンパワメントの醸成に努めました。

#### ◆世界規模の研修会や大会にYMCAリーダーを派遣

2023年度は、9月13日(水)~19日(火)インド・チェンナイにおいてAPAYアジア・太平洋 Y M C A 大会が開催され、広島からは2名のユースリーダーを派遣しました。また、5月4日(木)~6日(土)倉敷で開催された全国 Y M C A リーダー研修会には3名のリーダーと1名のスタッフを派遣しました。

#### ◆ICAN事務局長・メリッサ・パーク氏講演会支援

ICAN事務局長のメリッサ・パーク氏が、1月19日(金)~20日(土)で広島を訪問しました。2日目の1月20日(土)には平和資料館にて記念講演会が実施され、その講演会の総合司会を広島YMCAの国際リーダーの2名が担当しました。原稿づくりもしっかり行い、緊張の面持ちではありましたが、2時間半にも及ぶ大役を無事に成功させることができました。リーダー達にはとても良い経験となりました。





#### 6)協力団体との活動

#### ◆世界YMCA/YWCA合同祈祷週 広島集会

世界のYMCAとYWCAは1904年以来、11月の第2週を合同祈祷週とし、毎年一つのテーマを決めて世界の各地で礼拝や集会を行っています。今年は『種から花へ ~ 手を取り合って、希望と愛を育てましょう』というテーマで、11月18日(土)13:30~15:00に広島YWCAが主管となり、広島女学院中学高等学校講師の刀祢館先生をお招きし、日本バプテスト広島キリスト教会を会場として3年ぶりに対面式で開催されました。次年度の合同祈祷週は、呉YWCAが主管となる予定です。

#### ◆原爆の子の像建立記念式典 広島女学院大学と協力

1958年に建立された原爆の子の像。通常であれば5月5日が建立記念日ですが、2023年度はG7の関係で6月11日に式典を行いました。YMCAからは、チャプレンの立野牧師が開会祈祷、家守副総主事が代表として挨拶、黒瀬名誉理事長が最後の挨拶として原爆の子の像建立と原爆ドーム保存運動を行った河本一郎氏と折鶴の会の子ども達のお話をしていただきました。YMCAからは6千羽の千羽鶴を献納し、祈りを捧げました。

#### ◆「G7サミット」「C7サミット」における市民NPO協力

C7とはG7の公式な政策提言グループの1つで、世界中の市民社会組織が集まり、「核兵器廃絶」/「気候・環境問題」/「公平な経済」/「国際保健」/「人道支援と紛争」/「開かれた市民社会」などの政策課題に対してG7各国に政策提言ができるオフィシャルなワーキンググループのことです。4/15~17のG7にあわせた広島大会の3日間、YMCAは実行委員会の1つとして、C7の運営の役割を担いました。

#### ◆ウクライナ避難者支援 「プィーサンキの旅」 ウクライナ文化紹介(ウクライナ人会協力)

広島 Y M C A は、広島ウクライナ人会とのつながりの中でウクライナ避難者の支援活動をしながら、ウクライナの歴史や文化に触れる機会を提供しました。10月28日(土)に、ワークショップ「プィーサンキの旅ー広島」というテーマでワークショップと展示会を開催。

プィーサンキとは、ウクライナの特産品、蝋結染め技術によって装飾された卵で、11世紀以後キリスト教の復活祭イースターに用いるイースターエッグとなりました。ワークショップでは、ウクライナ出身で20年以上プィーサンキ制作に携わっているTetyana Solotska(テチャーナ・ソロツカ)さんを講師として、後援にはウクライナ大使館や広島YMCAが協力し実施されました。

この収益は広島県ウクライナ人会の活動に活用されました。 今後も引き続き避難された方々へのサポートを継続してまい ります。











#### 切られた。概像権結への経過しだ立たで、日本での 活動を模型する中で初の本格的なオファー。 で約3年のキャリアを積んできたが最収を増に終ち 8月6日の原爆の日は歌手として将出発する。 勝川で通野生物を送金ヤナ・ヤノブスカさん(4)が と世界の採和を願って破消を届けたいと意思など ロシアにもウクライナへの領事権収を訪れ ES . 98

# ウクライナ歌

避難先の広島で8・6コンサー



コンサートの打ち合わせをするヤノフスカさん母と ヒプリチさんを、Seaさん

四人を頼って広島へ来た。 日本で必要に蘇動した来、 う、外線系示りの傾用面 ってはかりではいけない」 コミュニケーションの難し 機能けたが、早間の を変え 一方の思を離れ 通便に「ウクライナに歯 特折やイリストの仕事を 題が上報

ě ることの意味を考えてい を行わせる。こ人は「国際 寄せてもらいたい」 を送げた出版で収別を掛け 私たちの姿を押して

る月の日の出版は午時

ナ・ヒプリチラん四と 攻弾地の直线、長なりリテ 職人のは外できた。世 ヤノマスカきんが日本に

けたい」との思いを何に振 ウショ 蓝 が開

が、日本での知名電アップ ウクライナ人会に選のイベ 落ち着いた妖者で にはされた例が必要だっ ントで飲む敷別返興した プやジャズが得意 前向ぎになれた イナに残る母と師を完装づ 「生活で食立し、 で生態していくしかないと ヤノプスカさんは

エールを言る。

かけにしてもらまればと

活動をよけるさつ

2023/07/24中国新聞

で競な学人だ様

のたとなるながったっちゃ

きぬた。星式マナー

なき

※前で接手

つ角から中区のカフェで樹 そんな競技を記させ 関が報を伝う。

内内で軽年この日に関く のシンガー・ソングライタ会話、かき船 (かなわ) が を閲覧。さらに、広島出身生活(かなお) が を閲覧。さらに、広島出身土地の前す曲

戦

禍

0

母

 $\mathbf{K}$ 

思

1

を

の国を思うと

在事中の発出者に向けて、 グラチャで民間デュ 平和の終りコンサート」。

世をう 一ちゃるかんどの性臓でと

ヤンプスのさんは音楽

場の著名

あ際いること

も併離な歌を生かして日本

「焼が棚間を出た

原爆ドー

ム前で集会

選案した。「名前を知って

夷

#### ▲2023年7月24日中国新聞朝刊より

広島YMCAでは2022年7月-8月、9月-10月、11月-2023年1月の期間 でウクライナから避難されてきている方々への日本語教室を行ってき ました。第3期の日本語教室を取材いただきました。



原爆ドーム前にキャンドルを並べ、ガザでの即時停戦を訴える メッセージを発信する市民たち (撮影・山下悟史)

のメッセージを描き、 Ę ら1カ月余りが過ぎた11 のメッセージを描き、被よ」とキャンドルで英語 が続くパレスチナ自治区 民集会が開かれた。 ム組織ハマスとの衝突か ガザに向けて「ジェノサ ンドルに点火し「ST イド(大量虐殺)を止め 参加者が約千本のキャ ム削で停戦を訴える市 イスラエル軍とイスラ 広島市中区の原爆ド 聯 ている。 機にしたい」 N

す絶望的な暴力が起き 万人の命を危険にさら きな声にして広げる 教授は「ガザの230 市立大の田浪亜央江准 字を浮かび上がらせた。 ド・ヒロシマ」が主催し、 約500人が参加した。 集会は市民有志でつく ストップシェノサイ キャンドルを大 GAZA と力を込め

#### ▲2023年11月12日(日)中国新聞朝刊に掲載

広島YMCAは、イスラエルによるガザ侵攻反対集会の実行委 員会の1つとしてキャンドルアピール『STOP **GENOCIDE** GAZA!』(ガザでの虐殺をやめろ!)を開催。実行委員会のス タッフとして記録を担当しました。 (関連報告はP5)

が、「やりがいがある」など覚えることは多い かけや食器を下げる手順 出に応じた。お客への南

いというボテル側の申し 避難民の就労を支援した

親と日本へ避難して広島 市に落ち着いた。 後、キーウの自宅から母 攻で一変した。 人生はどうなるの 侵攻が始まってつカ月

々。それがロシア軍の侵

で生きる道を切り聞くし ない」と振り向かない。 国に帰っても夢や希望は ある。それでも 生態企働いて、日本

ルバイトとして働く。 筝事に並べた。 ナーブルに皿やフォーク ヒプリチさん(20)が、 い制限を着たゾリアナ 昨年11月から週3日、 ルのレストラン。真新 広島市中心部の高層ホ

営管理学を学んでいた。 ウ(キエフ)の大学で経 ルパイトにいそしむ日 ヨッピングを楽しみ、 講覧が終わると友人とシ 2年前までは前都キー 人生どうなる 7 既 難民」と認められれば、

る」と期待する。 るため「キャリアを積め 就労制限なく日本で働け 得られる。競技5年間は、 る。それでも「いま母故郷を離れた殺しさは 定住者 の在個資格を

ずにいる。さまざまな葛藤を抱えながら懸命に 見えない戦況に、多くは故郷に戻る日を見通せ ライナ人は幼児から高齢者までも人。終わりの を迎える。戦火を逃れ、広島県内で暮らすウク 生きる遊覧者家族の今をみる。 ロシアによるウクライナ侵攻からが日でう年 ウクライナ侵攻と年

> 学んだ。 区の飲食店で適5日勤 本語を舞門学校で必死に 人が増えた。 同び首に始まった「補 気持ちを切り替えて日 日本語も上連して友 昨年2月から中

さらにヒプリチさ 認定制

さぎこんだ。 時はそればかり考えてふ

広島

0

M

雕家族

◁

# 高い「言葉の壁」 悩みも

んを前向きにした。 元的保護対象者」

igi.

クリック氏 学一などの在解資格で入国本に暮らずのは2102~ 万人を超える。 高等弁務官事務所によると 行によると、 ウクライナ遊難民 などの在僧賞格で入国 のは2102人。「留のは2102人。」日本日時点で日



び。 ホテルで働くヒプリチさん。「いつか日本で ホテルで働くヒプリチさん。「いつか日本で

いて生きる道

▲2024年2月21日 中国新聞朝刊より継続取材記事

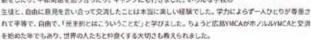
#### OPINION

#### 核兵器廃絶へ一YMCAへ期待すること

広島県原郷被害者団体協議会 理事長 佐久間 邦彦

原爆が投下されたとき、私は生後9カ月でした。当時の記憶はまったくないので すが、10歳のころから原因不明の腎臓病や肝臓病を思い、後に被爆者と呼ばれる ようになりました。被揮者に対してはさまざまな偏見もあったので、私は苦傷でし た。12歳で亡くなられ「蠑堡の子の像」のモデルになった佐々木禎子さんと年齢 も近く、不安もありました。

高校生のとき、広島YMCAの学習塾に通いました。YMCAには塾だけでなくたく さんのサークルがあり、私はコーラス部に入事。コーラス以外にも、後期報金法 動をしたり、早和問題を語り合ったり。キャンプにも行きました。いろんな学校の



20歳になった1964年、どうしても「被理者」という事任から逃れたくて上京し、東京YMCAホテル専門学校 に入学しました。東京オリンピックにも関わり、教育もして、結婚したいと思う人も見つかったのですが、彼女 の二直報が広島の人と交際することを役く思わなかったため新念。やはり私は被爆を背負って生きていくし かないと思って、広島に帰りました。

定年後、広島県原理被害者団体協議会でポランティアを始め、今に至ります。核兵器は人の一生に対して 大きな処理を作ってしまい、内面まで変えてしまう非人道的な存在です。こんな経験は二周と誰にもさせて はならない、というのが被揮者の思いです。

5月に広島で開催されたG7では、各国首服が原爆資料館を見学し、被爆者の話を聴かれました。首脳たち の感想には、核兵器の影響さが書かれていましたが、だからなくそうとはなりませんでした。「日本もアメリカ の核の象下で守られている。核兵器は必要だ」「核兵器がないと安全は守れない」と考える人が多くいます。 でも、もう一つの考え方があります。話し合いで解決を目指す考え方です。これは私がYMCAで学んだことで す。考え方の違う相手とも話し合う。交流して理解し合う。微争はしない。YMCAの精神にあるのはそういう

2017年に私はハワイの真珠河に行って、ミズーリ号に乗っていた人の謎を聴きました。その方は「お互いに やりたくて握事をしていたわけではない。軍の命令に従わなければならなかっただけだ」と言いました。戦争 をしたいと思っている人は少ない。戦争はしたくないと皆が声をあげることができれば、戦争は回避できると 私は信じています。だからこそ、一人ひとりの意見が尊重され、自由に話し合うことのできる民主的な社会を 作ること。戦争に異を唱えられる若者を育てることが併心です。

核兵器は人類にとって、あってはならないものです。核兵器反対の声をあげることは、政治運動でも何でも ありません。政治的に利用しているのは為政者の方です。一人ひとりが声をあげていけば、核兵器はなくすこ とができる。若い方々にはそう伝えたいです。 (まとめ 編集部)

> 日本 YMCA 同盟発行『THE YMCA』 2023 年 7-8 月号掲載 ▲ 広島県原爆被害者団体協議会理事長 佐久間邦彦氏インタビュー 広島 YMCA 少年部 OB 東京 YMCA ホテル専門学校 OB

#### 第21回 アジア・太平洋YMCA大会 インド・チェンナイに As a resilient comm 21カ国360人 Transforming lives through VISION 2030 21 GA ASIA PACIFIC YMCAS SEPTEMBER 15-20, 2023 | CHENNAL INDIA

4年に一度開催される「アジア・太平洋YMCA (APAY) 大会」が9月13日~9月19日、インドのチェンナイ(旧マドラス) で開 催されました。大会テーマは「回復力のあるコミュニティーとして共に歩む~Vision2030を通しての生き方の変革」。21の個 と地域から344人、日本からは46人が参加し、前回2019年に日本で養殖された第20回大会以降の4年間を終り返るととも こ。コロナで会えなかった特徴たちとの観交を深め、世界のVMCAと手を携えて「Vision2030」に取り組んでいくことが確認 Shall.

大会前半の9月13日~15日には、35歳以下を対象とした「コース・アッセンブリー」が開催されて約130人が参加したほか、 各級のジェンダー問題を共有する「ジェンダー平等フォーラム」も行われ、ジェンダー正道に関する確定が出されました。 15日からの「経音(ジェネラル・アッセンブリー)」は、メルボルン神学大学教授モニカ・メランションさんによる基質講演

でスタート。製書のサムエル記に登場するリズバという女性の物語を引用し「コロナ後のYMCAが回復力を高めて運動を練 続していくためには、信仰できる人間関係と信念、素軟性が欠かせない」とのメッセージが頂られました。世界YMCA問題の カルロス・サンビー総主事も参加し、世界で取り組み始めた「Vision2030」への参照が呼びかけました。

総会ではまた、4年に一度の役員改進選挙も行われ、これまでAPAYの従事を務めた同門発子さん (=1妻OPDNION) に魅わり、次節の会計監査役として企本役差さん (日本YMCA同盟常議員) が選出されました。山本さんは元東京YMCA主事で、 その後牧師となり、日本キリスト教協議会総主事や関西学院大学教授などを歴任。法理が精持されています。新会長には マレーシアYMCA推薦のフィリップ・トーマス氏が就任。引き続きAPAYのナム・ブーウォン健主義のもと、次期4年の報出

途中、「ユース・アッセンブリー」会唱で感染症が拡がり、日本のユース◆人が原因不明の風邪にかかるという事態に見舞 われましたが、全員無罪に帰国しました。一部のプログラムに参加できず残念な思いをしたコースも多かったものの、豊田 な経験をしたとの報告が寄せられています。感想を聞きましたのでご紹介します。

#### ユースの可能性を実感

#### コースアッセンブリーに参加

広島YMCAコースリーダー 阿茂 夏奈さん (大学4年)

私はもともと国際交流に関心があったのですが、大学人学と同時にコロナ何で、どこにも行かれなかったの で、今回は絶対行きたい」と思って参加しました。

ユースアッセンフリーではまず参加者同士でそれぞれの道際紹介をしたのですが、推取対策や女性支援に 聞わるインドの学生の話など、とても新鮮でした。分談では、韓国の学生たちと「生きづらさ」や特美の不良 について言葉し合う場面もありました。

フィリピンの方による音楽画書では、たたえば岩板変数や子どもの人権といった世界機能の課題に対して 「ユースこそが接換の力をを握っている」という話を関うました。「まずは世界の人たちとコミュニケーションを とることから始めよう」と、世界の神機とつながりながら、自分の場所でできることをしていく、小さくてもい



力がある。そんな力性いメッセージに会場の皆も感動してました。 その後私は快調を終し、本大会には当られなかったのですが、 大会会には回復して一人でボンベイYMCAを認識。今年6月に応島 YMCAのビースセミナーに参加してくれた神能たちと再会すること ができました。来春からは社会人になりますが、VMCAで出会った **弁側とのつながりを大切に、広島でピースセミナーを出めるなどで** きることに取り組んでいきたい。たくさんの異常と実施をも行っ 大田でした。

**小から一歩を組み出していてことで世界は変えられる。コースには** 

#### ▲THE YMCA 2023年11月号掲載より

APAYアジア・太平洋YMCA大会が9月13日から19日・インド チェンナイで開催。広島YMCAからは岡茂さん・服部さんを派遣 岡茂さんの記事が全国YMCA誌に掲載される(P8内容報告)



変だ、何かしたいと思 ನ್ನ 同 120 したニュースを見て大 (7)は「大地震が発生 や钢学生、職員など45 には広島YMCA保育 1年、アランチ仁さん した広島大付属東雲小 人が参加。家族と参加 小学生以下の子ども (中区)の圏児らが 募金活動をす



**落局長(57)が20日、** 非政府組織(NGO) のメリッサ・パーク事 広島市中区

核

禁条約

日

の原爆資料館で講演した。 本政府も条約に加わるべ

くてはならない」と強調し、日界を実現するための入り口でな 条約について「核兵器のない世 に発効3年を迎える核兵器禁止 、きだと

# ICAN事務局長、広島で講演

と決別し、条約に加わほしかった」と指摘。

条約に加わる責務が

「核の

からの ある」と迫った。 止論の危険性への認識を高める るには」との質問に対し、 とのパネル討論にも参加。 長(81)や平和活動に携わる若者 広島県被団協の箕牧智之理 約200人が参加した。 「日本政府の姿勢を変え

論で人道面や環境面の影響に目

ついて講演する一CANのパーク 発効3年になる核兵器禁止条約に を与えている。

核兵器を巡る議

を振り返り、「条約は大きな影響 N。パーク氏は発効からの3年

条約の制定に貢献したICA

初に条約に署名する国であって 日本政府について「被爆者の 依存して禁止条約に背を向ける しみを考えると、本来ならば最 を向けさせた」と成果を述べ 米国の「核の傘」

#### ▲2024年1月21日中国新聞朝刊より

ICAN事務局長メリッサ・パーク氏講演記事。広島YMCAは主催 者として講演会の運営をサポート。国際リーダーの服部さんと山 路さんが講演会の総合司会で進行を担当。(P8内容報告)

#### ◀2024年1月14日 毎日新聞朝刊掲載

1月13日(土)広島市内繁華街で実施された能登 半島地震緊急支援街頭募金の様子が掲載され、1月18 日(木)実施の保育園による街頭募金の告知もあわ せて掲載されました。(P8関連報告)

#### 2023年度事業報告書

発 行 2024年6月1日

発行元 公益財団法人広島YMCA

〒730-8523 広島市中区八丁堀7-11

Tel 082-228-1151

E-mail gcc@hiroshimaymca.org

デザイン 公益財団法人広島YMCA 制作 国際コミュニティーセンター

